

展覧会歴 | List of Exhibitions

主な展覧会

「やる気」みたいなもの（中略）
そんなスピリットを感じさせてくれたものは、美術史の延長上にあるというよりも、むしろ現代に生きている人こそが感じる事ができる種類のものだったように思う。なぜかといえば、それらの作品を解き明かす（というか、解ることができる）キーワードがまったくもって現代社会やサブカルチャーにあったからだ。
————— 奈良美智

[1981-1988 NAGOYA, JAPAN]、[「ちいさな星通信」東京：ロッキング・オン、2004年、p. 35 (初出：作家の手記、1983年)]

| | |
|------|---|
| 1990 | 「奈良美智」ギャラリー・デエント (オランダ、アムステルダム) |
| 1991 | 「無害」キンダー・シュピールハウス (ドイツ、デュッセルドルフ) |
| 1993 | 「奈良美智」ギャラリー・ヨーネン&シュトル (ドイツ、ケルン) |
| 1994 | 「Lonesome Babies」白土舎 (愛知) |
| 1995 | 「深い深い水たまり」スカイザバスハウス (東京)[ex.cat.] |
| | 「Nothing Gets Me Down」ギャルリー東京ユマニテ [ex.cat.] |
| | 「バシフィックベイビーズ」プラム&ポー (米国、カリフォルニア州サンタモニカ) |
| | 「テイク・オフ」チャップマン大学グッゲンハイム・ギャラリー (米国、カリフォルニア州オレンジ) |
| 1996 | 「奈良美智 Empty Surprise—空っぽの世界—」三菱地所アルティウム (福岡) |
| | 「開館15周年記念 ヒコクなファンタジー 現代5人の想像世界」宮城県美術館 [ex.cat.] |
| 1997 | 「奈良美智」プラム&ポー (米国、カリフォルニア州サンタモニカ) |
| | 「眠れない夜」ギャラリー・ミヒャエル・ツィンク (ドイツ、レーゲンスブルク) |
| | 「Screen Memory 閉ざされた記憶」小山登美夫ギャラリー (東京) |

描くことの要領の良さ
絵画的にみせることの卑屈さ
一生描きつづけることへの自信のなさ
世の中の半分はいつもうまくいかない
————— 奈良美智

[「深い深い水たまり」東京：角川書店、1997年、p. NA]

メルヘンではない!!
夢でもない!!
現実でもないかもしれない
しかし真実でなければならない!!
————— 奈良美智

[「深い深い水たまり」東京：角川書店、1997年、p. NA]

深くて本質的な問いかけを、
バカバカしくも見えるマンガ風のイメージを通じて行う奈良の作品は、重々しい生真面目さではないその軽いタッチが、展覧会場を出た後ですっと響き続ける。
————— デヴィッド・バーゲル

*Prizing an Animated Approach to Life,” Los Angeles Times, May 23, 1997.

2000年代

1998 「奈良美智」 Wisconsin 大学ビジュアルアーツ・インスティテュート (米国、ウィスコンシン州ミルウォーキー)[ex.cat.]

とにかく僕は「職業」としてこの道を選んだわけではなく、「生き方」として選んだということだ。
絵が売れて、本が売れてお金が入ってくるのは、おまけのようなものだ。
————— 奈良美智

[1998 L.A., U.S.A.], [「ちいさな星通信」東京：ロッキング・オン、2004年、p. 86(初出：作家の手記、1998年)]

| | |
|------|---|
| 1999 | 「夢を誦装しろ」マリアン・ボースキー・ギャラリー (米国、ニューヨーク) |
| | 「時代の体温 ART / DOMESTIC」世田谷美術館 (東京)[ex.cat.] |
| | 「ほとんど暖かくて不鮮明な：子ども時代と現代美術」デモイン・アート・センター (米国、アイオワ州)、[2000] タコマ美術館 (米国、ワシントン D.C.)、[2000] スコットデール現代美術館 (米国、アリゾナ州)、[2001] P.S.1 現代美術センター (米国、ニューヨーク)、[2001] ラカイシャ財団美術館 (スペイン、バルセロナ)、[2001] クロッカー美術館 (米国、カリフォルニア州)、[2001] ハミルトン・アートギャラリー (カナダ) |
| | 「ボールを忘れてゲームを続ける」クンストハレ・ニュルンベルク (ドイツ) |

高度の抽象とポピュラー・カルチャーの対照は、天使のようにも悪魔のようにも見える幼児と共鳴している。(中略)
こどもたちは多くの大人が認めたく無いほどに、賢くて、意地悪で、不幸せであるということを示唆することで、こどもというものを理想化し、幼稚な存在としがちなわたしたちの傾向を崩している。
————— ロバータ・スミス

[「Pave Your Dreams」展について] 梅原進吾訳、[「ユリカ 詩と批評：総特集*奈良美智の世界」2017年8月臨時増刊号、p. 38(初出：New York Times, November 5, 1999)]

| | |
|------|--|
| 2000 | 「ウォークオン」シカゴ現代美術館 (米国、イリノイ州)[ex.cat.] |
| | 「ララバイ・スーパーマーケット」サンタモニカ美術館 (米国、カリフォルニア州)[ex.cat.] |
| | 「20世紀の子供たち」アシャッフエンブルク市立ギャラリー (ドイツ)、ミッテルライン博物館 (ドイツ、コブレンツ) |
| | 「推定された無邪気さ：現代美術と子供」CAPCボルドー現代美術館 (フランス)、ヘイワード・ギャラリー (英国、ロンドン)[ex.cat.] |
| | 「遊び場のダークサイド」サンフランシスコ近代美術館 (米国、カリフォルニア州)[ex.cat.] |
| | ★「ゲンダイ：日本の現代美術—身体と空間の間」ウジダウスキー城現代美術センター (ポーランド、ワルシャワ)[ex.cat.] |
| 2001 | 「奈良美智展:I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.」横浜美術館 (神奈川県)、[2002] 芦屋市立美術博物館 (兵庫)、[2002] 広島市現代美術館、[2002] 北海道立旭川美術館、[2002] 吉井酒造煉瓦倉庫 (青森)[ex.cat.] |
| | ★「スーパーフラット」ロサンゼルス現代美術館別館バシフィック・デザイン・センター (米国、カリフォルニア州)、ウォーカー・アート・センター (米国、ミネソタ州ミネアポリス)、ヘンリー・アートギャラリー (米国、ワシントン州シアトル) [ex.cat.] |
| | 「パブリックオファー」ロサンゼルス現代美術館 (米国、カリフォルニア州)[ex.cat.] |
| | ★「ネオ東京：日本美術の今」シドニー現代美術館 (オーストラリア)[ex.cat.] |

2010年代

2010 「奈良美智」シカゴ現代美術館 (米国、イリノイ州)[ex.cat.]

2011 「奈良美智」シカゴ現代美術館 (米国、イリノイ州)[ex.cat.]

2012 「奈良美智」シカゴ現代美術館 (米国、イリノイ州)[ex.cat.]

2013年以降

奈良美智の作品に登場する人物が孤独なのは、それらの事物が画面の中で、ただ一人で佇んでいるからだけではない。ましてや、一人去り二人去り、最後に一人残されたあとに味わう孤独でもない。ここで言う孤独という言葉は、人間の存在そのものが本来的に孤独であると言う意味が込められるべきだし、作家自身がこの種の孤独のなかで作品を制作していることと切っても切れない重要な鍵となる。
————— 天野太郎

[「断片へ」、[I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.]京都：淡交社、2001年、p. 7]

奈良の想像世界での「子供」は、抑圧された記憶の媒体であると同時に、社会通念や行動規範を代表する「大人」に対して、そうした効率の良い体系から逸脱し、それをつき破る感覚の力を体現する存在だ。この意味での「子供」は、むしろ、フランスの哲学者ジュリア・クリステヴァが1990年に、大人と子供、男性と女性、現実と幻想の間を揺れ動くことを本質とする、「年齢とは関係のない精神構造」と定義した、「未成年」のカテゴリーによって、説明することができる。
————— 松井みどり

[「外側からのまなざし：奈良美智の絵画における「周縁」、[I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.]京都：淡交社、2001年、p. 140]

| | |
|------|--|
| 2002 | 「赤ちゃん泥棒は誰?」国立版画印刷芸術センター (フランス、シャトー)[ex.cat.] |
| | 「ドローイング・ナウ：8つの提案」ニューヨーク近代美術館 (米国)[ex.cat.] |
| 2003 | 「奈良美智 何も起こらないよ」クリーブランド美術館 (米国、オハイオ州)、[2004] ベンシルベニア大学現代美術館 (米国、フィラデルフィア)、[2004] サンノゼ美術館 (米国、カリフォルニア州)、[2004] セントルイス現代美術館 (米国、ミズーリ州)、[2005] ホノルル現代美術館 (米国、ハワイ州)[ex.cat.] |
| | 「M_ARS-ART AND WAR」ノイエ・ギャラリー・グラーツ (オーストリア)[ex.cat.] |
| | 「Niños / Children」サラマンカ・アート・センター (スペイン) |
| 2004 | 「奈良美智 From the Depth of My Drawer」原美術館 (東京)、金津創作の森美術館 (福井)、[2005] 米子市美術館 (鳥取)、[2005] 吉井酒造煉瓦倉庫 (青森)、[2005] ロダン・ギャラリー (韓国、ソウル)[ex.cat.] |
| | 「奈良美智&杉戸洋：虹の向こう」ピナコテーク・デア・モデルネ (ドイツ、ミュンヘン)、[2005] K21 ノルトライン=ヴェストファーレン州立美術館 (ドイツ、デュッセルドルフ)[ex.cat.] 2人展 |
| 2005 | ★「リトルボーイ：爆発する日本のサブカルチャー・アート」ジャパン・ソサエティー・ギャラリー (米国、ニューヨーク)[ex.cat.] |
| 2006 | 「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」吉井酒造煉瓦倉庫 (青森)[ex.cat.] |
| | 「Moonlight Serenade 一月夜曲」金沢21世紀美術館 (石川)[ex.cat.] |
| | 「話しかける絵画たち」ゲッツコレクション (ドイツ、ミュンヘン) |
| 2007 | 「奈良美智 + graf：マラガの塔」マラガ現代美術館 (スペイン)[ex.cat.] |
| | 「カルト・フィクション：アートと漫画」ヘイワード・ギャラリー (英国、ロンドン)、ニュー・アートギャラリー・ウォールズール (英国)、ノッティンガム城博物館&美術館 (英国)、リーズ・アートギャラリー (英国)、アベリストウィス・アーツ・センター (英国)、[2008] タリー・ハウス博物館&美術館 (英国、カーライル)[ex.cat.] |
| | 「プリティベイバー」フォートワース近代美術館 (米国、テキサス州)[ex.cat.] |

| | |
|------|--|
| 2008 | 「悪魔への共感：1967年以降のアートとロック」シカゴ現代美術館 (米国、イリノイ州)、[2008] ノースマイアミ現代美術館 (米国、フロリダ州)、[2008] モントリオール現代美術館 (カナダ)[ex.cat.] |
| | 「Yoshitomo Nara + graf」バルティック現代美術センター (英国、ニューカッスル) |
| | ★「KITA !!：日本人アーティストとインドネシア」スラサール・スナリヨ・アート・スペース (インドネシア、バンドウン)、ジョグジャ・ナショナル・ミュージアム (インドネシア、ジョグジャカルタ)、チェムティ・アート・ハウス (ジョグジャカルタ)、ルアンMES 56 (ジョグジャカルタ)、ルンバガ・インドネシア・プランチス (ジョグジャカルタ)[ex.cat.] |
| | 「秩序、欲望、光 現代ドローイング展」アイルランド現代美術館 (ダブリン)[ex.cat.] |
| 2009 | 「アイスランドのクレート部屋：奈良美智+YNG」レイキャヴィク市立美術館 (アイスランド)[ex.cat.] |
| | 「ウォーキング・イン・マイ・マインド」ヘイワード・ギャラリー (英国、ロンドン)[ex.cat.] |
| 2010 | 「奈良美智：誰も馬鹿じゃない!」アジア・ソサエティ美術館 (米国、ニューヨーク)[ex.cat.] |

奈良はキース・ヘリング以来
もっとも普遍的な視覚芸術家といえるかもしれない。異文化間や世代間のギャップとは無縁で、表現方法や素材、様式における溝は軽々と越える、あるいは単に無視すればいいと思っているかのように見える。
————— ロバータ・スミス

[少女、犬、音楽に寄り添いながら]飯原裕美訳、[「ユリカ 詩と批評：総特集*奈良美智の世界」2017年8月臨時増刊号、p. 41(初出：New York Times, September 9, 2010)]

| | |
|------|--|
| 2011 | ★「バイバイキティ!!! 天国と地獄の狭間で ー日本現代アートの今ー」ジャパン・ソサエティー・ギャラリー (米国、ニューヨーク)[ex.cat.] |
| 2012 | 「奈良美智：ワークス・オン・ペーパー」ADAA ザ・アート・ショー (米国、ニューヨーク)[ex.cat.] |
| | 「奈良美智：君や 僕に ちょっと似ている」横浜美術館 (神奈川県)、青森県立美術館、[2013] 熊本市現代美術館 [ex.cat.] |
| | 「青い森の ちいさな ちいさな おうち」十和田市現代美術館 (青森) |
| | ★「ダブル・ヴィジョンー日本現代美術」モスクワ市立近代美術館 (ロシア)、ハイファ美術館 (イスラエル)、ティコティン日本美術館 (ハイファ)[ex.cat.] |

もはや好むと好まざるとにかかわらず、自分が作るものは、僕自身の自画像ではなく、鑑賞者本人や誰かの子どもや友達だと感じるオーディエンスのものであり、欲を言えば美術の歴史の中に残っていくものになっていくと思っている。自分の肉体が減んでも、人類が存在する限りは残っていくものということだ。
————— 奈良美智

[「君や 僕に ちょっと似ている / a bit like you and me...」、[奈良美智：君や 僕に ちょっと似ている]京都：FOIL、2012年、p. 6]

80年代には、記憶や衝動の断片的なイメージが散在する構成や内面の吐露を感じさせる荒々しい筆致などに、ほぼ同年代の「新表現主義」への接近を思わせる特徴が見られた奈良の絵画は、渡独以降 90年代に入る頃から、ニュアンスを残した単色の背景と一つの中心的なモチーフによる画面へと移行していった。
————— 高橋しげみ

[「春少女」は世界を待つ」、[奈良美智：君や 僕に ちょっと似ている]京都：FOIL、2012年、p. 126]

90年代から2000年代前半にかけての自画像的絵画において奈良は、それが観る者のどんな反応を引き起こそうとも、「自分はこうだ」というメッセージを発することに徹していた。そこに描かれた子どもや生き物たちは、完全にキャンバスの内に展開する時空に住み、絵の前に立って彼らを見つめる私たち観者の存在を意識することはなかった。それは言わば奈良自身の「閉じた」自己表現であり、そこからメッセージを受け取るかどうかは、観者の能動的な関りの意志にかかっていた。ところが2004年頃からの奈良の絵画は、絵の前に立つ私たちの存在を認め、向かってくる。私たちを眼差してくる。――高橋しげみ

〔「春少女」は世界を待つ〕、「奈良美智：君や僕に ちょっと似ている」京都：FOIL、2012年、p. 127

- 2013 「奈良美智」ベース・ギャラリー（米国、ニューヨーク）[ex.cat.]
★ [Re: Quest―1970年代以降の日本現代美術] ソウル大学校美術館（韓国）[ex.cat.]
「ダメージ・コントロール：1950年以降のアートと破壊」ハーシュホーン美術館・彫刻庭園（米国、ワシントンD.C.）、[2014] ジャン大公近代美術館（ルクセンブルク）、[2014] クンストハウス・グラーツ（オーストリア）[ex.cat.]
- 2014 「3日間の奈良美智・ドローイングショウ」沢田マンションギャラリー room38(高知)

現代美術界において漫画やアニメなどの大衆的な視覚美術から影響を受けたアーティストは星の数ほどいるが、奈良のアートはその中でも超然とした位置を占めている。実際、これほどまでに印象的な顔を引き出してみせた作家はほとんどいない。この事実こそが、彼の創意の源がそれほど単純ではないことを物語っているのだ。――加藤磨珠枝

〔ドローイングという感情記号〕、「Yoshitomo Nara: Drawings 1984–2013」ロサンゼルス：プラム&ポー、2014年、p. 30

- 2015 「無常人生」アジア・ソサエティ香港センター [ex.cat.]
「Shallow Puddles」プラム&ポー（東京）[ex.cat.]
- 2016 「ハイ！ ホー！ レッツゴー：ラモーンズとバンクの誕生」クイーンズ美術館（米国、ニューヨーク）、グラミー博物館（米国、カリフォルニア州ロサンゼルス）[ex.cat.]

彼がただその土地の人々を映し出そうとしただけでなく、自分と被写体の距離を縮めることによって、彼らにレンズを見返すことを許し、またそうすることを望んだことがわかる。――官 綺雲

〔The Artist behind the Camera: Yoshitomo Nara〕鈴木敏晴、鄭重訳、「ユリイカ 詩と批評：総特集＊奈良美智の世界」2017年8月臨時増刊号、pp. 193–94〔初出：Once in a Life―Encounters with Nara, Asia Society Hong Kong Center, 2016〕

- 2017 「奈良美智 for better or worse」豊田市美術館（愛知）[ex.cat.]
「飛生にて」飛生アートコミュニティー（北海道）
★ [ジャパノラマ：1970年以降の新しい日本のアート] ポンビドゥー・センター・メッセ（フランス）[ex.cat.]

インスピレーションをキャッチするために、僕は想像の中でひとり両手を広げ、アンテナの感度を上げていく。その時の圧倒的な孤独感は快感となって自分と夜を同化させてくれる。その感覚が消えないうちに筆を取って、画面の中の自分と会話するのだ。――奈良美智

〔それは真夜中に出て来る 真夜中のThinker〕、「ユリイカ 詩と批評：総特集＊奈良美智の世界」2017年8月臨時増刊号、p. 26

人間の顔／頭部は、多様な社会において「靈魂のありか」として認識されてきたがゆえに、それを強調することは人間の精神性、魂の問題に焦点を当てることになるのです。(中略) 奈良美智の描く巨大な「顔面」の造形的意義は批評の対象から外されてきましたが、これは日本の現代アートの一面である「性的肉体」＝過激なヌード、エロティシズムへの言及の対極に位置する「靈的意識」＝スピリチュアルな活動の表象であると私は考えています。――加藤磨珠枝

〔名もなきものたちへの鎮魂歌―奈良美智の「肖像」論〕、「ユリイカ 詩と批評：総特集＊奈良美智の世界」2017年8月臨時増刊号、p. 136

- 2018 「色即是空、空即是色 喜びの日々は時には遠く、時には足元にある」ベース／マックギル・ギャラリー（米国、ニューヨーク）
〔ニコ・ピロスマニ〕アルベルティーナ美術館（オーストリア、ウィーン）[ex.cat.]
- 2020 「奈良美智」ロサンゼルス・カウンティ美術館（米国、カリフォルニア州）

主なコレクション

金沢21世紀美術館（石川）
シカゴ・アート・インスティテュート（米国、イリノイ州）
青森県立美術館
ブレナム美術財団（英国、ロンドン）
大英博物館（英国、ロンドン）
デモイン・アート・センター（米国、アイオワ州）
広島市現代美術館
サムスン美術館リウム（韓国、ソウル）
ロサンゼルス・カウンティ美術館（米国、カリフォルニア州）
マリア・ファレリ小児病院（米国、ニューヨーク）
ミデルハイム野彫刻美術館（ベルギー、アントワープ）
サンディエゴ現代美術館（米国、カリフォルニア州）
ロサンゼルス現代美術館（米国、カリフォルニア州）
ボストン美術館（米国、マサチューセッツ州）
ニューヨーク近代美術館（米国）
ナショナル・ギャラリー（米国、ワシントンD.C.）
クイーンズランド・アートギャラリー（オーストラリア、ブリスベン）
サンフランシスコ近代美術館（米国、カリフォルニア州）
豊田市美術館（愛知）
横浜美術館（神奈川県）

Selected Exhibitions

“Motivation” [...] What made me feel such spirit did not exist at the extension of art history, but rather it was a type of things that could only be felt from being alive in these times. Because the keywords that unlocked the works (or what could unlock) were unmistakably in our contemporary society and subculture.――Yoshitomo Nara

“1981–1988 NAGOYA, JAPAN,” *THE LITTLE STAR DWELLER*, Tokyo: rockin'on, 2004, p. 35. (first appeared in the artist's note, 1983)

- 1990 *Yoshitomo Nara*, Galerie d'Endt, Amsterdam, the Netherlands
1991 *Harmlos*, Kinderspielhaus, Dusseldorf, Germany
1993 *Yoshitomo Nara*, Galerie Johnen & Schöttle, Cologne, Germany
1994 *Lonesome Babies*, Hakutosha, Aichi, Japan
1995 *In the Deepest Puddle*, SCAI THE BATHHOUSE, Tokyo, Japan [ex.cat.]
Nothing Gets Me Down, Galerie Tokyo Humanité, Japan [ex.cat.]
Pacific Babies, Blum & Poe, Santa Monica, CA, USA
Take Offs, Guggenheim Gallery, Chapman University, Orange, CA, USA
1996 *Yoshitomo Nara: Empty Surprise*, Mitsubishi Estate ARTIUM, Fukuoka, Japan
Ironic Fantasy—Another World by Five Contemporary Artists, The Miyagi Museum of Art, Japan [ex.cat.]
1997 *Yoshitomo Nara*, Blum & Poe, Santa Monica, CA, USA
Sleepless Night, Galerie Michael Zink, Regensburg, Germany
Screen Memory, Tomio Koyama Gallery, Tokyo, Japan

Efficiency of painting
Self-abasement in showing to be painterly
Uncertainty in painting for the rest of my life
Half of the time it doesn't go well――Yoshitomo Nara

In the Deepest Puddle, Tokyo: Kadokawa Shoten Publishing, 1997, p. NA.

Not a fairy tale!
Not even a dream!
May not even be reality
But must be the truth!!――Yoshitomo Nara

In the Deepest Puddle, Tokyo: Kadokawa Shoten Publishing, 1997, p. NA.

By asking deep, existential questions via apparently silly cartoons, his works avoid heavy-handed solemnity in favor of a light touch that resonates long after you've left the exhibition.――David Pagel

“Prizing an Animated Approach to Life,” *Los Angeles Times*, May 23, 1997.

- 1998 *Yoshitomo Nara*, Institute of Visual Arts, University of Wisconsin, Milwaukee, WI, USA [ex.cat.]

I did not choose this path as a “profession,” but a “way of living.”
The art selling, books selling and money coming in is just an added bonus.――Yoshitomo Nara

“1998 L.A., U.S.A.,” *THE LITTLE STAR DWELLER*, Tokyo: rockin'on, 2004, p. 86. (first appeared in the artist's note, 1998)

- 1999 *Pave Your Dreams*, Marianne Boesky Gallery, New York, USA
ART / DOMESTIC – Temperature of the Time, Setagaya Art Museum, Tokyo, Japan [ex.cat.]
Almost Warm and Fuzzy: Childhood and Contemporary Art, Des Moines Art Center, IA, USA, [2000] Tacoma Art Museum, Washington D.C., USA, [2000] Scottsdale Museum of Contemporary Art, AZ, USA, [2001] P.S.1 Contemporary Art Center, New York, USA, [2001] Fundación “la Caixa”, Barcelona, Spain, [2001] Crocker Art Museum, CA, USA, [2001] Art Gallery of Hamilton, Canada
Vergiß den Ball und Spiel' Weiter, Kunsthalle Nürnberg, Germany

The contrast of high abstraction with popular culture is echoed by the angelic-devilish nature of the toddlers themselves. [...] They undermine the tendency to idealize and infantilize children by suggesting that they are smarter, meaner and less unhappy than most grown-ups want to admit.――Roberta Smith

“Yoshitomo Nara,” *New York Times*, November 5, 1999.

- 2000 *Walk On*, Museum of Contemporary Art Chicago, IL, USA [ex.cat.]
Lullaby Supermarket, Santa Monica Museum of Art, CA, USA [ex.cat.]
Kinder des 20. Jahrhunderts, Galerie der Stadt Aschaffenburg, Germany, Mittelrhein-Museum, Koblenz, Germany
Presumed Innocent, CAPC Musée d'art contemporain de Bordeaux, France, Hayward Gallery, London, UK [ex.cat.]
The Darker Side of Playland, San Francisco Museum of Modern Art, CA, USA [ex.cat.]
★*Gendai: Japanese Contemporary Art – Between the Body and Space*, Center for Contemporary Art, Ujazdowski Castle, Warsaw, Poland [ex.cat.]
- 2001 *Nara Yoshitomo: I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.*, [2002] Yokohama Museum of Art, Kanagawa, Japan, [2002] Ashiya City Museum of Art & History, Hyogo, Japan, [2002] Hiroshima City Museum of Contemporary Art, Japan, [2002] Hokkaido Asahikawa Museum of Art, Japan, [2002] Yoshii Brick Brewhouse, Aomori, Japan [ex.cat.]
★*SUPERFLAT*, MOCA Pacific Design Center, Los Angeles, CA, USA, Walker Art Center, Minneapolis, MN, USA, Henry Art Gallery, Seattle, WA, USA [ex.cat.]
Public Offerings, Museum of Contemporary Art, Los Angeles, CA, USA [ex.cat.]
★*Neo-Tokyo: Japanese Art Now*, Museum of Contemporary Art Australia, Sydney [ex.cat.]

That the human figures in Yoshitomo Nara's work appear alone is not because they are standing still all by themselves. It is not the kind of loneliness in which first one left, and then another, finally leaving one person all alone. What I mean here by “alone” or “loneliness” is that human existence itself originally contains the meaning of being alone. That the artist himself is already making those “lonely” works from within that type of “loneliness” is an inseparably important key.――Taro Amano

“Toward Fragmentation: The Drawing as Form,” trans. Midori Matsui, in *I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.*, Kyoto: Tankosha, 2001, p. 161.

In Nara's imaginative world. As I have indicated, "child" frequently functions as a medium of repressed memory. At the same time, it becomes an agent of the emotional or perceptual power that deviates from the morals and standards of "adult" social systems, challenging its effective economy, threatening to break its balance. This idea of "child" is fortified by Julia Kristeva's idea of the adolescent. Defined in 1990 as "an open psychic structure regardless of age," it embodies an indeterminate state that fluctuates between adult and child, man and woman, reality and fiction.

————— Midori Matsui

"A Gaze from Outside: Merits of the Minor in Yoshitomo Nara's Painting," trans. Midori Matsui, in *I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.*, Kyoto: Tankosha, 2001, p. 169.

- 2002 **Who Snatched the Babies?**, Centre national de l'Estampe et de l'Art imprimé, Chatou, France [ex.cat.]
Drawing Now: Eight Propositions, The Museum of Modern Art, New York, USA [ex.cat.]
- 2003 **Yoshitomo Nara: NOTHING EVER HAPPENS**, Museum of Contemporary Art Cleveland, OH, USA, [2004] Institute of Contemporary Art, University of Pennsylvania, Philadelphia, PA, USA, [2004] San José Museum of Art, CA, USA, [2004] Contemporary Art Museum St. Louis, MO, USA, [2005] The Contemporary Museum, Honolulu, HI, USA [ex.cat.]
M_ARS-ART AND WAR, Neue Galerie Graz, Austria [ex.cat.]
Niños / Children, Centro de Arte de Salamanca, Spain
- 2004 **Yoshitomo Nara: From the Depth of My Drawer**, Hara Museum of Contemporary Art, Tokyo, Japan, Kanazawa Forest of Creation Museum, Fukui, Japan, [2005] Yonago City Museum of Art, Tottori, Japan, [2005] Yoshii Brick Brewhouse, Aomori, Japan, [2005] Rodin Gallery, Seoul, South Korea [ex.cat.]
Yoshitomo Nara & Hiroshi Sugito: Over the Rainbow, Pinakothek der Moderne, Munich, Germany, [2005] K21 Kunstsammlung Nordrhein-Westfalen, Dusseldorf, Germany [ex.cat.] | Two-person exhibition
- 2005 **★Little Boy: The Arts of Japan's Exploding Subculture**, Japan Society Gallery, New York, USA [ex.cat.]
- 2006 **YOSHITOMO NARA + graf A to Z**, Yoshii Brick Brewhouse, Aomori, Japan [ex.cat.]
Moonlight Serenade, 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa, Ishikawa, Japan [ex.cat.]
Talking Pictures, Sammlung Goetz, Munich, Germany
- 2007 **Yoshitomo Nara + graf: Torre de Málaga**, Centro de Arte Contemporáneo de Málaga, Spain [ex.cat.]
Cult Fiction: Art and Comics, Hayward Gallery, London, UK, The New Art Gallery Walsall, UK, Nottingham Castle Museum and Art Gallery, UK, Leeds Art Gallery, UK, Aberystwyth Arts Centre, UK, [2008] Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK [ex.cat.]
Pretty Baby, Modern Art Museum of Fort Worth, TX, USA [ex.cat.]
Sympathy for the Devil: Art and Rock and Roll Since 1967, Museum of Contemporary Art Chicago, IL, USA, [2008] Museum of Contemporary Art North Miami, FL, USA, [2008] Musée d'art contemporain de Montréal, Canada [ex.cat.]
- 2008 **Yoshitomo Nara + graf, BALTIC Centre for Contemporary Art, Newcastle, UK**
★KITA!!: Japanese Artists Meet Indonesia, Selasar Sunaryo Art Space, Bandung, Indonesia, Jogja National Museum, Yogyakarta, Indonesia, Cemeti Art House, Yogyakarta, Ruang MES 56, Yogyakarta, Lembaga Indonesia Prancis, Yogyakarta [ex.cat.]
Order. Desire. Light. An Exhibition of Contemporary Drawings, Irish Museum of Modern Art, Dublin, Ireland [ex.cat.]

- 2009 **The Crated Rooms in Iceland: Yoshitomo Nara + YNG**, Reykjavik Art Museum, Iceland [ex.cat.]
Walking in My Mind, Hayward Gallery, London, UK [ex.cat.]
- 2010 **Yoshitomo Nara: Nobody's Fool**, Asia Society Museum, New York, USA [ex.cat.]

In this regard, Mr. Nara may be one of the most egalitarian visual artists since Keith Haring. He seems never to have met a culture or generation gap, a divide between art mediums or modes of consumption that he couldn't bridge or simply ignore.

————— Roberta Smith

"Cuddling with Little Girls, Dogs and Music," *New York Times*, September 9, 2010.

- 2011 **★Bye Bye Kitty!!! Between Heaven and Hell in Contemporary Japanese Art**, Japan Society Gallery, New York, USA [ex.cat.]
- 2012 **Yoshitomo Nara: Works on Paper, ADAA: The Art Show, New York, USA [ex.cat.]**
NARA Yoshitomo: a bit like you and me..., Yokohama Museum of Art, Kanagawa, Japan, Aomori Museum of Art, Japan, [2013] Contemporary Art Museum, Kumamoto, Japan [ex.cat.]
The Little Little House in the Blue Woods, Towada Art Center, Aomori, Japan
★Double Vision: Contemporary Art from Japan, Moscow Museum of Modern Art, Russia, Haifa Museum of Art, Israel, Tikotin Museum of Japanese Art, Haifa [ex.cat.]

Whether I like it or not, the things I make are no longer self-portraits, but belong to the audience who find themselves, their friends or children they know in my paintings. My hope is that they will remain in the history of art... that they will survive as long as humankind exists even if my physical body is destroyed.

————— Yoshitomo Nara

"a bit like you and me..." in *Nara Yoshitomo: a bit like you and me...*, trans. Stanly N. Anderson, Caroline Elder, Kaoru Chiba, Maki Nanamori, Levi Pata, Sumiko Yamakawa, Kyoto: FOIL, 2012, p. 7.

Nara's paintings of the 1980s, featured compositions with scattered, fragmentary images of memory and impulsive and dynamic brushwork that seems to be expressing his inner life, showing similarity to the contemporary movement known as Neo-Expressionism. In 1990s, after living for a time in Germany, he developed a new style with a single, central figure placed against a nuanced, monochrome background.

————— Shigemi Takahashi

"Miss Spring Waits for the World," in *Nara Yoshitomo: a bit like you and me...*, trans. Stanly N. Anderson, Caroline Elder, Kaoru Chiba, Maki Nanamori, Levi Pata, Sumiko Yamakawa, Kyoto: FOIL, 2012, p. 129.

In the self-portrait paintings made from the 1990s to the early 2000s, Nara was mainly saying, "This is what is going on with me!" regardless of the response of the viewer. The Children and animals he painted lived fully within the space-time of canvas and were not aware of the presence of the anyone standing in front of the painting and watching them. These paintings might be described as a closed form of self-expression, and it is entirely up to viewer whether or not they choose to actively engage with them. From around 2004, however, Nara's figures began to notice our presence in front of the painting. They face us and look right at us.

————— Shigemi Takahashi

"Miss Spring Waits for the World," in *Nara Yoshitomo: a bit like you and me...*, trans. Stanly N. Anderson, Caroline Elder, Kaoru Chiba, Maki Nanamori, Levi Pata, Sumiko Yamakawa, Kyoto: FOIL, 2012, p. 130.

- 2013 **Yoshitomo Nara, Pace Gallery, New York, USA [ex.cat.]**
★Re: Quest – Japanese Contemporary Art since the 1970s, Seoul National University Museum of Art, South Korea [ex.cat.]
Damage Control: Art and Destruction Since 1950, Hirshhorn Museum and Sculpture Garden, Washington D.C., USA, [2014] Musée d'Art Moderne Grand-Duc Jean, Luxembourg, [2014] Kunsthau Graz, Austria [ex.cat.]
- 2014 **A 3-Day Drawing Show**, sawaman38 Gallery, Kochi, Japan

Many Japanese Contemporary Artists have been influenced by popular visual expressions like manga and anime, but Yoshitomo Nara stands out in the crowd. Few other artists have created such unforgettable faces. The distinctiveness of his creative work makes it obvious that its sources are not as simple as they appear to be.

————— Masue Kato

"Drawings as Signs of Emotion," trans. Stan Anderson, in *Yoshitomo Nara: Drawings 1984–2013*, Los Angeles, CA: Blum & Poe, 2014, p. 21.

- 2015 **Life is Only One**, Asia Society Hong Kong Center [ex.cat.]
Shallow Puddles, Blum & Poe, Tokyo, Japan [ex.cat.]
- 2016 **Hey! Ho! Let's Go: Ramones and the Birth of Punk**, Queens Museum, New York, USA, Grammy Museum, Los Angeles, CA, USA [ex.cat.]

We can already see how Nara was not only interested in bringing out the humanness of a place, but he empowered the people who he photographed by narrowing the distance between him and them—he allowed them, he wanted them, to look back.

————— Yeewan Koon

"The Artist behind the Camera: Yoshitomo Nara," in *Once in a Life: Encounters with Nara*, Asia Society Hong Kong Center, 2016, p. 84.

- 2017 **Yoshitomo Nara: for better or worse**, Toyota Municipal Museum of Art, Aichi, Japan [ex.cat.]
At Tobiu, Tobiu Art Community, Hokkaido, Japan
★Japanorama: A New Vision on Art since 1970, Centre Pompidou-Metz, France [ex.cat.]

In order to catch inspiration, I stretch out both hands by myself in my imagination and raise the sensitivity of my antennae. The sense of overwhelming solitude felt at that time becomes pleasure and assimilates me with the night. Before that sensation disappears, I take up my brush and converse with myself on the canvas.

————— Yoshitomo Nara

"Sore wa mayonaka ni yattekururu: Mayonaka no Thinker" [It Comes Down in Midnight: Thinker of the Midnight], trans. William Andrews, *Eureka: Poetry and Criticism*, August/July 2017, p. 26.

Because the human face/head has long been acknowledged in various societies as "the location of the soul," its emphasis is a way to focus on the issue of the human spirituality and soul. [...] Although the formal significance of the enormous "faces" that Yoshitomo Nara depicts has not been the subject of criticism, my thinking is that at the polar opposite to the reference of "the sexual body" = graphic nudes and eroticism that is an aspect of the Japanese contemporary art is this representation of "the spiritual consciousness" = spiritual activity.

————— Masue Kato

"Na mo naki mono-tachi e no chinkonka—Nara Yoshitomo no shozo ron" [Requiem for the Nameless—Nara Yoshitomo's Theory of Portrait], *Eureka: Poetry and Criticism*, August/July 2017, p. 136.

- 2018 **all things must pass, but nothing is lost / precious days around me, sometimes farther along, sometimes under my feet**, Pace/MacGill Gallery, New York, USA
Niko Pirosmanni, The Albertina Museum, Vienna, Austria [ex.cat.]
- 2020 **Yoshitomo Nara**, Los Angeles County Museum of Art, CA, USA

Collections

- 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa, Ishikawa, Japan
Art Institute of Chicago, IL, USA
Aomori Museum of Art, Japan
Blenheim Art Foundation, London, UK
British Museum, London, UK
Des Moines Art Center, IA, USA
Hiroshima City Museum of Contemporary Art, Japan
Leeum, Samsung Museum of Art, Seoul, South Korea
Los Angeles County Museum of Art, CA, USA
Maria Fareri Children's Hospital, New York, USA
Middelheim Museum, Antwerp, Belgium
Museum of Contemporary Art San Diego, CA, USA
Museum of Contemporary Art, Los Angeles, CA, USA
Museum of Fine Arts, Boston, MA, USA
The Museum of Modern Art, New York, USA
National Gallery of Art, Washington, D.C., USA
Queensland Art Gallery, Brisbane, Australia
San Francisco Museum of Modern Art, CA, USA
Toyota Municipal Museum of Art, Aichi, Japan
Yokohama Museum of Art, Kanagawa, Japan